平成３１年度（2019年度）

埼玉県高等学校体育連盟

剣道専門部要覧（案）

４月２３日（火）の顧問総会に印刷してご持参ください

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
専門部ホームページ
(http://saitama-koukou-kendo.jp/)

目　　次

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規――1
埼玉県高等学校剣道連盟剣道専門部ホームページ運営管理規定――2
個人情報保護法に伴う埼玉県高体連主催剣道大会参加について――3
埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部役員表――4
県内大会予定表――5
県内行事・県外行事予定表――6
大会役員表――7
専門部役員表――8
競技役員役割分担一覧表――9
関東高校剣道大会県予選会要項――１０
学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項――１２
埼玉県剣道大会要項――１３
県民総合体育大会兼埼玉県高等学校剣道新人大会要項――１４
大会申し合わせ事項――１５
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項――２０
全国高体連剣道専門部努力目標――２４
高校剣道－鍔競り合い改善概要版――２６
埼玉県高体連参加資格――２７
強化行事について――２８
指導普及部行事（審査・講習）について――２９
高校剣道連盟一級審査会要項――３０
高校剣道連盟段位審査会要項――３１
段位審査会個人申込用紙――３３
段位審査会学校団体用紙――３６
指導普及部役割分担表――３７
埼玉県剣道連盟入会申込書――３８
高校剣道連盟会費について――３９
高校剣道連盟登録用紙の入力の仕方――４１
高校剣道連盟会員登録申込書学校番号――４２
総務部役割分担表――４３
剣道部員人口調査用紙――４４
高体連大会運営負担金納入書――４５
埼玉県高体連剣道専門部行事予定――４９

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部内規

１．名　　称　埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部と称する。

２．役　　員　（１）専門部に次の役員を置く。

専門部長	１名
副 部 長	１名
委 員 長	１名
副委員長	４名
常任委員	３０名
特別委員	若干名

（２）埼玉県剣道連盟加盟団体高校剣道連盟として次の役員を置く。

加盟団体長	１名
理　　事	１名
事 務 局 長	１名
会　　計	１名
監　　事	２名

３．組　　織　各部の組織と業務は次のとおりとする。（各部の部長を含む）

（１）総　務　部　（５名）
・庶務・記録広報・議事録
（２）指導普及部　（７名）
・審査会・登録・講習会
（３）競　技　部　（９名）
・大会運営
（４）強　化　部　（９名）
・選手強化
※各部の人数は原則とする。

４．会　　議　専門部に次の会議を置く。

（１）部長・委員長会　　専門部の重要事項の審議
（部長、副部長、委員長、副委員長、各部部長）
（２）常任委員会　役員改選案・行事計画案・大会要項・運営要領・内規改正
（部長、副部長、委員長、副委員長、常任委員、特別委員）
（剣道専門部会計担当２名、HP担当1名、高校剣道連盟役員）
（３）顧問総会　　役員承認・行事計画・その他
（４）代表者会議　　大会申し合わせ事項（各校監督・主将）
（５）審判委員会　　審判員選出
（審判長、副審判長、委員長、副委員長、競技部）
（６）ホームページ委員会

５．役員の選出　（１）専門部長は常任委員会の推薦により高等学校長に依頼する。
（２）副部長、委員長、各部部長は常任委員会で選出し、専門部委員会で承認する。ただし、副委員長は東西南北の委員長をこれにあてる。
（３）常任委員は各校剣道部顧問より選出されたもの。
（４）剣道専門部会計担当（２名）、HP担当（１名）高校剣道連盟役員は部長より任命を受け、常任委員会で推薦を受け承認されたもの。ただし、常任委員との兼務は妨げない。
（５）特別委員は部長、副部長、委員長、常任委員の経験者より常任委員会の推薦により依頼することができる。
（６）高校剣道連盟の役員は常任委員会で選出する。
（７）部長、副部長、委員長、副委員長、剣道専門部会計担当、HP担当、高校剣道連盟役員は常任委員の定数に含まない。

６．役員の任期　役員の任期は２年とし、再任を妨げない。

以上の規約は、埼玉県高等学校体育連盟規約・種目別専門部規定を基準として規定した。

平成　２年　２月２０日
改正　平成　３年１２月１８日
改正　平成　５年１２月１４日
改正　平成１２年１２月　５日
改正　平成１８年　２月１７日
改正　平成１９年１２月１２日
改正　平成２２年　２月　３日
改正　平成２３年　４月１９日
改正　平成２８年１２月１４日
改正　平成３０年　５月３０日

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
ホームページ運用規定

（目的）
１－１　本規定は埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部（以下専門部という）がインターネットホームページを活用し、専門部に関する情報を提供することにより、わかりやすく開かれた専門部を目指すことを目的として、ホームページの管理運用について定めることとする。

（ホームページ管理者およびホームページ管理運用責任者）
２－１　ホームページ管理者（以下管理者という）専門部長とし、ホームページの管理運用を統括する。
２－２　管理者はホームページ管理運用責任者（以下責任者という）を置き、ホームページの管理運用にあたらせる。責任者は委員長とする。

（ホームページ管理運営委員会の設置）
３－１　ホームページの管理運用、ホームページに掲載する情報の選定を行うため、ホームページ管理運営委員会）以下「委員会」という）を設置する。
３－２　委員会は次の事項を掌握する。
①ホームページの管理運用に関すること。
②ホームページの掲載内容に関すること。
③セキュリティに関すること。
④人権および個人情報保護に関すること。
⑤知的所有権に関すること。
⑥その他
３－３　委員会は専門委員の中から管理者が任命するものを持って構成する。
①委員会には、部長（管理者）、委員長（責任者）を置く。
②部長は、委員を招集し、委員会を主宰する。
③委員長は、部長を補佐し、部長が不在の場合に、その職務を代理する。
（不正進入および改ざん等に対応）
４－１　管理者は、ホームページのセキュリティを確保する。
（個人情報。知的所有権の保護）
５－１　ホームページに情報を掲載する場合は、人権、個人情報、著作権等の知的所有権の保護等に十分注意する。
（ホームページ上に掲載する情報）
６－１　ホームページ上に掲載する情報は、次のものとする。
①専門部要覧
②大会結果
③段級審査会
④その他剣道に関すること
附則
　この規則は、平成１６年５月１日から施行する。

個人情報保護法に伴う埼玉県高体連主催剣道大会参加について

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長　金子　益巳
（　埼玉県立鴻巣高等学校長）

平素から、本専門部の活動にご支援・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、「個人情報保護法」の施行に伴い、（財）全国高等学校体育連盟および本県高等学校体育連盟からの通知があり、本専門部において、大会開催に伴う個人情報保護につきまして、下記のとおり実施いたしますので、ご理解とご承諾を賜りたくお願い申し上げます。

なお、不明な点がありましたら、各校剣道部顧問を通じて専門部までお問い合わせください。

記

1　適法かつ公正な手段によって個人情報を取得いたします。

2　取得した個人情報は、利用目的以外で使用することはありません。

3　法令に定める場合を除き、個人情報を事前に本人の同意を得ることなく第三者に提供しません。ただし、組合せ表および大会結果は、本専門部ホームページおよび認められた報道機関により、新聞・雑誌および関連ホームページに公開されることがあります。

4　個人情報は正確かつ安全に管理し、紛失、破壊、改ざんおよび漏えいなどの防止に努めます。

5　本人および保護者から個人情報の開示・訂正・追加・利用停止・消去等の要求があった場合は速やかに対応します。

問い合わせ先
埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部
委員長　津　坂　宗　秀（県立大宮東高等学校）
〒337-0021　さいたま市見沼区膝子567
TEL 048-683-0995（代表）
FAX 048-680-1900

平成31年度　埼玉県高体連剣道専門部役員

（50音順）

専　門　部　長

専 門 副 部 長

専 門 委 員 長

専 門 副 委 員 長
〃
〃
〃

常　任　委　員

４月２３日（火）
顧問総会後掲載

特　別　委　員

高校剣道連盟役員

剣 道 専 門 部 会 計

総　　務　　部 ◎
（9名）

指 導 普 及 部 ◎
（7名）

競　　技　　部 ◎
（13名）

強　　化　　部 ◎
（11名）

平成31年度　埼玉県高体連剣道専門部役員

加 盟 団 体 長
評　　議　　員
理　　事
事　務　局　長
会　　計
監　　事

平成３１年度（2019年度）　県内大会予定表

大会名		開催期日	会場名	試合形式	申込み方法	代表者会議期日	代表者会議会場
支部大会 （各支部主催）	東部	４月２０日（土）団体 ４月２１日（日）個人	県立春日部工業高校 県立不動岡高校	トーナメント戦	代表者会議に直接申込み	４月１７日（水）	春日部高校
	西部	４月２０日（土）団体 ４月２１日（日）個人	県立川越南高校 県立川越南高校	トーナメント戦	代表者会議に直接申込み	４月１７日（水）	川越南高校
	南部	４月２０日（土）団体 ４月２１日（日）個人	県立大宮東高校 県立伊奈学園総合高校	トーナメント戦	代表者会議に直接申込み	４月１７日（水）	浦和高校
	北部	４月２０日（土）団体 ４月２１日（日）個人　４月	県立皆野高校 県立皆野高校	トーナメント戦	代表者会議に直接申込み	４月１７日（水）	熊谷高校
関東大会県予選会		５月　８日（水）男女個人 １３日（月）女子団体 １４日（火）男子団体	県立武道館 〃 〃	トーナメント戦 〃 〃	代表者会議に直接申込み	４月２３日（火） 顧問総会（専門委員会）を兼ねる	県武道館
学校総合体育大会 兼全国総合体育大会 県予選会		６月　３日（月）男女個人 １７日（月）女子団体 １８日（火）男子団体	所沢市民体育館 県立武道館 〃	トーナメント戦 トーナメント戦 トーナメント戦	個人、団体とも代表者会議に直接申込み	５月２９日（水）	県武道館
新人大会地区予選会	東部	１１月１０日（日）	県立春日部高校	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	西部	１１月１０日（日）	未定	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
	南部	１１月１０日（日）	県立浦和高校	トーナメント戦	春季大会同様	未定	
	北部	１１月１０日（日）	寄居アタゴ体育館	トーナメント戦	郵送申込み	未定	
埼玉県剣道大会 主催 埼玉県剣道連盟		１１月１４日（木）	県立武道館	個人戦 トーナメント戦	郵送申込み	未定	なし 責任抽選
新人大会 兼県民総合体育大会		令和２年 １月２５日（土）女子団体 ２６日（日）男子団体	県立武道館 〃	トーナメント戦 〃	代表者会議に直接申込み	１月１５日（水）	県武道館

平成３１年度（2019年度）　県内行事・県外大会予定表

	行　　事　　名	開　催　期　日	会　　場　　名	備　　考
県行事	顧問総会（専門委員会） （関東県予選代表者会議）	４月２３日（火）	県立武道館第２道場	関東大会県予選会に出場しない学校の顧問も出席して下さい。 年内の大会・行事・段級審査会・諸手続きの説明を行います。 剣道専門部要覧をＨＰよりダウンロードしてご持参ください。
	１級審査会	６月３０日（日） １０月２７日（日）	県立スポーツ総合センタ 県立スポーツ総合センタ	
	段位審査会	８月　８日（木） １月１２日（日）	県立武道館 県立武道館第２道場	
	剣道講習会	８月　７日（水）	県立武道館	剣道部顧問対象。　申込は、全国総体県予選会にて。
県外大会	関東大会	６月　７日（金） ～　９日（日）	東京都 東京武道館	
	全国総合体育大会	８月　３日（土） ～　６日（火）	熊本県 熊本県立総合体育館	
	国体関東ブロック予選	８月２５日（日）	千葉県 八日市場ドーム	
	国民体育大会	９月２９日（日） ～１０月１日（火）	茨城県 下館総合体育館	
	全国選抜剣道大会	令和２年 ３月２７日（金） ～２８日（土）	 愛知県 春日井市総合体育館	

平成31年度　大会役員表

(50音順)

1 大　会　会　長
2 大 会 副 会 長
3 大 会 委 員 長
4 大会副委員長
〃
〃
〃
〃
〃
〃
5 審　　判　　長
6 副　審　判　長
7 大　会　総　務
8 大　会　委　員
〃
9 大　会　会　計
〃
10 審　　判　　員

：高　体　連　会　長
：専　門　部　部　長
：専　門　委　員　長
：専 門 部 副 部 長
：専 門 部 副 部 長
：専 門 部 副 部 長
：東 部 支 部 委 員 長
：西 部 支 部 委 員 長
：南 部 支 部 委 員 長
：北 部 支 部 委 員 長
：専 門 部 副 部 長
：副　　審　　判　　長
：競　　技　　部　　長

４月２３日（火）　顧問総会後掲載

11 競　技　役　員

12 運　営　委　員

13 救　　護

＊上記大会役員の先生方は、すべての大会運営にご協力をお願いします。
＊大会当日に欠席される場合は、事前に 勝間　健先生（春日部高校）まで連絡して下さい。

平成30年度 埼玉県高体連剣道専門部役員表

常任委員会出席対象者　　(50音順)

総務部									28 名
東部支部	8名								
西部支部	8名								
南部支部	8名								
北部支部	4名								

競技部									61 名
東部支部	13名								
西部支部	17名								
南部支部	20名								
北部支部	11名								

４月２３日（火）
顧問総会後掲載

強化部									34 名
東部支部	9名								
西部支部	9名								
南部支部	10名								
北部支部	6名								

指導普及部									28 名
東部支部	10名								
西部支部	9名								
南部支部	10名								
北部支部	8名								

2019年度 競技部 役割分担一覧表

*印は他部と兼務

係			常任委員	専門委員			役員生徒
代表者会議	受付	男 子					
		女 子					
	抽選	男子(団体)					
		女子(団体)					
		男女個人		(競技部責任抽選)			
	プログラム	男 子					
		女 子					
本大会	式典	開閉会式 司会進行					
	広報	報道関係					
	試合	試合進行		(各試合場審判主任)			
		審判割当		(審判委員会)			
		補助役員指導					
				(会場作成・復帰係)			
		試合審判用具					
		用具購入					
	検量	検 量					各校生徒
	会場	入場指導					
		駐車場整理					各校生徒
		救護					
		立入禁止区域設置					
		会場調整					
		会場手続					
	会場作成復帰	ラインテープ指導					
		放送式典準備					
	清掃指導	観覧席		各支部競技部専門委員			
		フロアー		関東予選男女個人	5月8日	東部支部	
		1階通路・階段		関東予選女子団体	5月13日	西部支部	
		2階通路・玄関		関東予選男子団体	5月14日	南部支部	
		第1道場(柔道場)		全国高校総体男女個人	6月3日	北部支部	
		第2道場(剣道場)		全国高校総体女子団体	6月17日	南部支部	
		1階トイレ		全国高校総体男子団体	6月18日	東部支部	
		2階トイレ		高校新人大会女子団体	1月25日	西部支部	
		会議室		高校新人大会男子団体	1月26日	北部支部	
		館 外		＊埼玉県剣道大会11/14(木)についてはプログラム掲載			

4月23日(火)
顧問総会後掲載

平成３１年度　第６６回関東高等学校剣道大会県予選会要項

１．日　　時　**令和元年　５月　８日（水）　　男女個人・決勝**

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判員打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

令和元年　５月１３日（月）　　女子団体・決勝

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判員打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

令和元年　５月１４日（火）　　男子団体・決勝

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：３０
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判員打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

２．会　　場　埼玉県立武道館　　℡048-777-2400

３．試合方法　＜団体戦＞　男女ともにトーナメントとする。
男女とも上位７校を関東大会（東京都開催）の埼玉県代表とする。男女とも１～７位順位決定戦を行う。

＜個人戦＞　男女ともにトーナメントとする。
男女とも上位４名を関東大会（東京都開催）の埼玉県代表とする。男女とも１～４位順位決定戦を行う。

※男女とも上位４名はインターハイ予選にシード選手として、無条件で出場できる。

※女子の１位選手は全日本都道府県対抗女子剣道大会の候補選手とする

４．検　　量　竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない

５．試合規則　全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。

６．試合時間　＜団体戦＞　４分・引き分け（準決勝、決勝は延長２分１回、
順位決定戦においては延長を行わない）
※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない。

＜個人戦＞　４分。延長戦は勝敗の決するまで継続して行う。

７．表　　彰　１位～５位（団体・個人）

８．参加制限　＜団体戦＞**(男子)**新人大会上位６４校及び支部大会で出場権を獲得した
下表の通り３２校の計９６校。

	東部	西部	南部	北部	計
男子	８	９	９	６	３２

(女子)新人大会上位６４校及び支部大会に出場した学校全て。

＜個人戦＞下表のとおりとする。

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	３２	４４	４０	２４	１	１４１
女子	２０	２８	３２	２０		１００

９．抽　　選　※個人戦の抽選については、競技部が責任抽選する。

10．シード権　＜団体戦＞　前年度新人大会上位１６校をシードする。
＜個人戦＞　各支部上位４名をシードする。

11．代表者会議　**４月２３日（火）　県立武道館　第一道場（柔道場）**
１３：１０　受付開始
１３：４０　受付終了
１４：００　開会

12．その他　　競技役割分担は前年度でお願いします。

平成３１年度　関東高等学校剣道大会県予選会個人戦
実施方法および抽選要項

１．実施方法

【支部大会】

・各学校より男女４名ずつ選手を出し、トーナメント方式で決勝戦まで実施する。
・試合時間は４分。延長戦は勝敗の決するまで継続して行う。
・男女とも各支部県大会出場者は下表のとおりとする。
（毎年、出場者数は常任委員会で決定する）

	東部	西部	南部	北部	推薦	計
男子	３２	４４	４０	２４	１	１４１
女子	２０	２８	３２	２０	－	１００

＊推薦とは前年度埼玉県剣道大会男子優勝者（全日本都道府県対抗男子出場者）である。
＊各支部大会上位４名を県大会時にシードとする。
尚、推薦1名を含む支部においてのシードの扱い方は常任委員会で決定されたとおりとする。

・平成３０年度埼玉県剣道大会の上位１６名の選手・国体候補選手は、
平成３１年度　４月の各支部予選ではシードとする。
（シードの扱いは下位で対戦しないように考慮する）
・申し込みは所定の申し込み用紙により、各支部の代表者会議の際に提出する。
・選手変更届（剣道専門部要覧添付）は特別な事由のない限り許可しない。
・組み合わせ抽選は各支部に一任する。（県大会に準ずる）
・各支部の県競技部常任委員は、支部大会の結果を報告する。
（確認表を作成し、申し込み時の確認用とする）

【県大会】

・関東大会予選の代表者会議を**４月２３日（火）**に実施する。その際、個人戦の各支部予選通過者のいる学校の顧問は、所定の申し込み用紙にて申し込む。
・**選手変更届は、いかなる場合においても許可しない。**
・抽選方法は、競技部による責任抽選とする。
☆全国大会個人予選では、関東大会個人予選のベスト１６以内の選手をシードとする。

２．抽選方法

①関東大会に、同一校より最大限４名が出場できるように組み合わせる。
②シードの分配は、団体戦と同じ方法とする。（各支部の順位のみ考慮する）
③組み合わせ抽選は、競技部の責任抽選とする。

３．抽選手順

①各支部１位の選手の抽選（男子は推薦者の扱いに注意する）
②１位の選手と同じ学校の選手の分配
（２名の場合は決勝まで、３名の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する）
③上記と同様に２位、３位選手の順で抽選および分配。
④シード選手がいなく、同一校より複数出場している選手の分配。
（２名の場合は決勝まで、３名の場合は準決勝まで対戦しないよう配慮する）
⑤１校より１名出場している選手の分配。
⑥４ブロックに振り分けられた選手の確認。（シード選手および人数等）
⑦分配された選手の抽選。（各ブロック内）
※分配とは４ブロックに振り分けること。
（４ブロックに分ける抽選と、その中での抽選となる）

平成３１年度　第６６回学校総合体育大会
兼全国高等学校総合体育大会県予選会要項

１．日　　時　**令和元年６月　３日（月）　男女個人・決勝＜所沢市民体育館＞**

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

令和元年６月１７日（月）　女子団体・決勝＜県立武道館＞

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

令和元年６月１８日（火）　男子団体・決勝＜県立武道館＞

会場作成役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	８：３０
審判打ち合わせ	９：００
受付終了	９：１５
開会式	９：３０
試合開始予定	９：５０
表彰・閉会式予定	１７：３０

２．会　　場　所沢市民体育館（個人戦）　℡04-2991-1181
埼玉県立武道館（団体戦）　℡048-777-2400

３．試合方法　団体・個人戦（各校男女各２名）。ともにトーナメントとする。
個人戦は全８試合場で男子の１回戦を行ってから、女子の１回戦を行う。
男女とも団体戦優勝校・個人戦上位２名は全国大会（熊本県）の
埼玉県代表とする。

４．検　　量　竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない

５．試合規則　全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。

６．試合時間　団体戦は４分・引き分け
準決勝・決勝は延長２分１回を行う。
※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない。

個人戦は４分。延長は時間を区切らず勝敗の決するまで行う。

７．表　　彰　１位～３位　（碩山基金表彰＝個人戦１・２位トロフィー、３位楯）

８．参加制限　個人戦については関東予選会ベスト４に入った選手は無条件で出場でき
シード選手とする。

９．シード権　団体戦については関東予選会上位１６校
個人戦については関東予選会上位１６名をシード選手とする。
（個人戦は競技部による責任抽選を実施する）

10．代表者会議　**５月２９日（水）県立武道館　第二道場**（剣道場）
１３：１０受付開始
１３：４０受付終了
１４：００ 開会

第６４回　埼玉県剣道大会（高等学校の部）要項

１．日　　時　　**令和元年１１月１４日（木）　男女個人戦・決勝**

２．会　　場　　埼玉県立武道館　　℡048-777-2400

３．主　　催　　（公財）埼玉県剣道連盟　　埼玉県高等学校体育連盟

４．後　　援　　（一財）全日本剣道連盟　　埼玉県教育委員会　埼玉新聞社

５．主　　管　　（公財）埼玉県高校剣道連盟
　　埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部

６．試合区分　　（１）男子の部　　（２）女子の部

７．参加資格
　　及び人員　　（１）公益財団法人　埼玉県剣道連盟高等学校支部会員であること
（２）各校　男子、女子各２名（１・２年生が望ましい）

８．試合規則　　全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。

９．試合方法　　各校男女各２名による個人トーナメント戦。
全試合場（８試合場）で男子の１回戦を行ってから女子の１回戦を行う。
（出場選手数に応じて男子の２回戦の数試合を行う場合もある）
※男女とも上位１６名を、次年度の支部大会個人戦のシード選手とする。
※男子の１位選手は全日本都道府県対抗剣道大会の候補選手とする。

10．検　　量　　竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない

11．試合時間　　４分３本勝負とし、勝敗の決しない場合は延長戦を勝敗の決するまで
継続して行う。

12．表　　彰　　１位～３位　　ベスト８は敢闘賞

13．申し込み　　所定の大会申込書に記入の上、各支部代表へ**郵送申込**とする。

14．抽　　選　　抽選は競技部が責任抽選する。

15．シード権　　①令和元年度全国高校総体県予選個人戦上位１６名（１・２年生）
②国体候補・強化選手（強化部報告）
③令和元年度関東大会県予選会個人上位１６名（１・２年生）

16．予定時間
８：００　役員・補助役員集合、準備
９：００　選手入場
９：１５　応援生徒入場
９：２０　受付開始（顧問）
９：３０　審判打ち合わせ
９：５０　受付終了
１０：００　開会式・公開演武
１０：４０　試合開始（予定）
１７：００　表彰・閉会式（予定）

※ 受付は必ず顧問が行う。　（受付の際に個人戦の個票を提出する）
※ 別試合場で行われる男子一回戦の受付は、一回戦が行われる試合場で行う。

17．そ の 他　　武道館の駐車場の利用は、役員・審判員に限ります。

※開・閉会式次第は別途配布のプログラム参照

平成３１年度　第３２回県民総合体育大会兼
第６６回（女子第４９回）埼玉県高等学校剣道新人大会要項

１．日　　時　**令和２年　１月２５日（土）　女子団体・決勝**

役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	９：００
審判打ち合わせ	９：３０
受付終了	９：４５
開会式	１０：００
試合開始予定	１０：２０
表彰・閉会式予定	１７：００

令和２年　１月２６日（日）　男子団体・決勝

役員・補助役員集合（会場準備）	８：００
選手入場・受付開始（顧問）	８：３０
審判打ち合わせ	９：００
受付終了	９：１５
開会式	９：３０
試合開始予定	９：５０
表彰・閉会式予定	１７：３０

２．会　　場　埼玉県立武道館　　℡048-777-2400

３．試合方法　男女ともに団体戦トーナメント
男女とも優勝校を全国選抜大会（愛知県）の埼玉県代表とする。
男女とも上位６４校は次年度の関東大会県予選会の出場権を得る。
男女とも上位１６校は次年度の関東大会県予選会のシード権を得る。

４．試合規則　全日本剣道連盟試合・審判規則・同細則、並びに
全国高体連剣道専門部申し合わせ事項による。

５．試合時間　４分・引き分けとする。
準決勝・決勝は延長２分１回を行う。
※団体戦の勝敗が決している場合、延長戦は行わない

６．検　　量　竹刀に記名（氏名・学校名）のないものは、検量を行わない

７．表　　彰　１位～３位　　（体育協会表彰１位～３位）

８．シード権　各支部大会の上位４校（計１６校）
※シード校が１ブロックに東西南北に分かれるように抽選し、なおかつ
各支部の１位と２位が決勝まで対戦しないように抽選する。

９．その他
・合同チームについては大会申し合わせのとおりである場合は許可をし、参加を認める。

10．代表者会議　**１月１５日（水）**　**県立武道館　第二道場**（剣道場）

１３：１０	受付開始
１３：４０	受付終了
１４：００	開会

埼玉県高等学校剣道専門部　大会申し合わせ事項

１．武道館の利用について

①深夜・早朝（午前８時以前）の来館を禁止する。
②選手・応援の生徒は２階観客玄関を利用する。（それ以外は利用できない）
入場は男女別の入口とする。応援の生徒も同様とする。
男子は正面玄関側（北側）、女子は相撲場側（南側）から並ぶこととする。
③各学校で靴袋や傘袋等を用意し、必ず袋に入れて管理する。
（そのままで館内に持ち込まない）
④ゴミはすべて持ち帰りとし、館内の美化・清掃に心がけお互いに気持ち良く利用する。
⑤応援は２階観覧席のみでおこなう。大会役員・引率教員・選手以外は１階に降りてこない。
⑥１Ｆ事務室付近には出入りしない。
⑦道場以外での練習は禁止する。
⑧外へは絶対裸足で出ない。また、２階剣道場以外での準備体操・素振は厳禁とする。
⑨武道館のスリッパは役員以外の利用はしない。
⑩キャスター付き防具袋は、館内ではキャスターを使用しない。
⑪飲食は、２F観覧席・選手ラウンジ・中庭のみとする。また、**試合会場内には飲み物を持ち込まない。**（中庭の渡りは土足禁止、石畳上は下足使用となる）
⑫武道館駐車場は大会役員以外の利用禁止とする。役員以外は水上公園の駐車場を利用。
⑬武道館敷地内は、喫煙所以外はすべて禁煙である。
⑭武道館利用規則を遵守すること。

２．応援席、更衣について

①２Ｆ観覧席や通路に荷物等を置かない。**（場所取りの禁止）**
また、１校が多数を独占したりしないで、お互いに譲り合う。
②男子は２階観覧席で更衣をする。
③女子の更衣については剣道場を使用する。
（施設の利用状況によっては他の場所を使用する場合もある）

３．盗難・忘れ物防止について

①更衣後の荷物・貴重品は整理して各校で管理する。
②貴重品ロッカーを必ず活用する。
③退館する際に忘れ物がないかどうか必ず確認する。
④持ち物には必ず記名しておく。

４．申し込みについて

①各種申込書は、高体連剣道専門部のホームページ(http://saitama.koutairenkendo.jp/)の中にある申込書をダウンロードして使用する。（Ａ４版）
②校長印のないものは受け付けない。
③人数不足（３・４名）の大会申込書、オーダー表は以下のように書く。
・３名の場合→（先鋒、中堅、大将）
・４名の場合→（先鋒、中堅、副将、大将）
④関東大会は、人数不足での出場も可能。ただし、全国大会には出場できない。

５．受付、選手交代について

①受付は開会式前までに、顧問がオーダー表（団体戦）・個票（個人戦）を各試合場の補助役員に提出して行う。

◎オーダー表＝模造紙1/4　(下図参照)　　**◎個票＝Ａ４コピー用紙**

←　79.0㎝　→

学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将

↑ 27.5㎝ ↓

※
名 字 （学 校 名）

（注意）
個票提出の際は※印の欄に第１試合の試合場及び通し番号を記入する。

◎個人戦個票は剣道専門部のホームページよりダウンロードして使用する。

②選手と補欠の交代は、各試合場の審判主任に申し出る。交代した選手は以後出場できない。

③団体戦において人数不足のチーム（３、４名）で大会に出場する場合、３名の場合は先鋒・中堅・大将、４名の場合は先鋒・中堅・副将・大将とする。また、大会申し込み後に選手が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合は、欠場するポジションが不戦敗となる。

６．選手変更・追加登録について

①大会申し込み後に、選手・補欠が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合に限り、申し込み時の人数を最大限として選手変更・追加登録ができる。

②選手変更は所定の選手変更届を提出する。校長印のないものは受け付けない。
高体連剣道専門部のホームページ(http://saitama.koutairenkendo.jp/)の中にある選手変更届をダウンロードして使用する。（Ａ４版）

③選手変更届は大会当日、大会本部（競技部長）に提出する。委員長と競技部長の競技の上、大会本部（競技部長）から各試合場の審判主任に報告する。

④選手変更する場合、参加申込時の選手５名補欠３名に対し、**新たな選手を入れる場合は、補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。**
正選手を交代する場合、まず、補欠選手を正選手と交代し、変更選手を補欠に入れる。また、順位の変更は認めない。**ただし、変更・追加する選手は申込時の補欠の人数分（最大限３名まで）とする。**

７．棄権連絡について

①大会申し込み後に棄権する場合は、必ず剣道専門部委員長に連絡を入れる。
（支部大会においては各支部委員長に連絡をする）

②当日やむを得ず棄権する場合は、大会本部（競技部長）に連絡する。
大会本部（競技部長）より各試合場審判主任に報告する。

８．試合について

①竹刀は整備されたものを使用し、安全点検を励行する。また、竹刀は適正なものを使用する。（先革にテープが巻いてあるもの、つばの先に柄革が余っているもの、先が異常に細いものは使用できない。検量に合格していない竹刀や、異物が入っている竹刀を使用した場合は、反則負けになる）

②サポーター等の使用は医療上必要と認める場合に限り、見苦しくない範囲で認める。
足底用サポーターは、皮・ゴムを使用しているものは不可、布は許可する
③名札（黒または濃紺地に白文字、学校名・氏名）を必ず着用する
※２枚重ねの場合は必ず２・３箇所縫いつける（安全ピンは不可）。なお、手書きの場合は消えないもので書くこととする。（できていない場合は出場不可）
④赤白目印は長さ７０㎝、幅５㎝とする（極端に基準を越えないものは認める）
⑤面紐は、後ろに垂れる長さが４０㎝以内とする（長い場合はその場で切る）
⑥ストップウォッチ類の試合場への持込みを禁止する。
⑦円陣・胴突き・握手・声援・試合場での監督指示は禁止する。
⑧声援が多い場合は、各試合場の審判主任が監督または選手・応援団に注意する。
⑨会場内での**フラッシュ撮影は禁止**する。また、**１階でのビデオ撮影は危険を伴ったり、試合進行の妨げになるので禁止する。**
（iPhone、iPad、スマートフォン等での動画撮影も１階では禁止とする。）
⑩試合進行の変更等は、本部とトランシーバーで連絡をとりあい円滑に行う。

９．勝敗（団体戦）について

①団体戦の勝敗は、まず勝ち数で決まる。
②勝ち数が同じ場合は、勝ち本数で決まる。
③勝ち本数が同じ場合は、任意の代表者による代表者戦を行う。
④代表者戦は４分１本勝負とし、勝敗の決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。

10．人数不足のチームの試合方法について

①埼玉県高体連剣道専門部の試合規則として以下のように定める。
団体戦において３名で大会に出場する場合には、先鋒・中堅・大将に選手を、４名で出場の場合は先鋒・中堅・副将・大将に選手を配し、相手チームの先鋒より順次対戦する。３名のチームは相手の次鋒・副将に２本を与え不戦負けとし、４名のチームは相手の次鋒に２本を与え不戦負けとする。
また、大会申し込み後に、選手が怪我や急病のためやむなく大会に出場できなくなった場合は、欠場するポジションが不戦敗となる。
関東大会は人数不足のチーム（３・４名）でも出場は可能。
ただし、全国大会には人数不足のチームでの出場はできない。
②３・４人で出場するチームの中堅は、面を着けずに整列する。
③追加登録（上限３名まで）する場合は、大会本部（競技部長）に選手変更届を提出する。

11．顧問（監督・コーチ等）の申し合わせ

①顧問（監督・コーチ等）の服装は、**背広・ネクタイの着用を原則**とする。
（剣道着・袴も可とする）
②顧問（引率責任者）は出場校の教諭とし、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者とする。監督が出場校教諭である場合は、原則として引率者を兼ねる。
③試合場（監督席・次回選手席）に入れる者は、**顧問（監督・コーチ等）１名と選手・定められた補欠だけで、他の者の入場は厳禁する**
④監督席では時計の装着は厳禁する

12．各大会時の男女の入場規制について

大会が土、日開催の場合は規制しない。ただし、平日開催の場合は当該学校長が認める限り入場を認める。

13. 各大会時の１階試合会場への入場規制について

１階試合場への入場は、選手・顧問（監督・コーチ）・大会役員・補助役員のみとし、ＩＤカードの使用を義務づけることとする。（競技本部で受付、配布・試合終了後返却）

注）顧問（引率責任者）、監督（コーチ）は出場校の教職員または学校長が特に認めた者であり、それ以外は入場を厳禁する。

14. 竹刀の検量について

竹刀の検量で基準に満たなかった竹刀は試合で使用できない。さらに、検量を行っていない竹刀や、不正な竹刀を試合で使用した場合は負けとし、相手に２本を与え、既得本数および既得権を認めない。更に以後の試合に出場できない。

ただし、団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。

注）以下のような竹刀は検量に合格できません

①印が押せないような柄革が汚れているものや古いもの
②竹刀をテープで補修したものや、竹刀の合わせ等の不備なもの
③先革がすり減ったものや、破れて先芯が見えているもの
④弦が緩んでいるもの
⑤中結の位置が、剣先から全長の１／４以外のもの
⑥竹刀に記名（氏名・学校名等）のないもの
⑦以前の検量シールを貼ってあるもの
＊開会式までの検量は一人２本までとする。

15. 竹刀の基準について（一刀の場合）

	性別	高校生（相当年齢の者も含む）
長さ	男女共通	１１７センチメートル以下
重さ	男　性	４８０グラム以上
	女　性	４２０グラム以上
先皮先端部太さ	男　性	２６ミリメートル以上
	女　性	２５ミリメートル以上

16. 部員不足による合同チームについて

①合同チームによる大会参加は県新人大会・各支部新人大会の出場を認める。次回参加につながるシード権・出場権は与えない。
②合同チームの編成は２名以下の登録部員数の学校である。その際は３校以下とする。（最大登録選手６名）怪我や初心者等の理由で合同チームを編成することはできない。
③合同チームで試合に出場できる選手は３名とし、「先鋒・中堅・大将」とする。
④男女団体それぞれにおいて、別々の学校（同一支部）と編成することができる。
⑤合同チームの名称は、編成する学校の連名とする。
⑥合同チームで出場する場合の名札は自校名のものとする。
⑦合同チームの監督席には代表顧問１名とする。
⑧**秋季支部新人大会参加申込時**に各支部委員長に合同チーム編成申請書（様式１）を提出する。
⑨剣道専門部競技部会で協議後、常任委員会で承認を得る。
参加が認められた場合は合同チーム大会申込書（ＨＰよりダウンロードする）を県新人大会代表者会議に提出する。
⑩各支部新人大会については県新人大会と②～⑦のとおりとする。
支部委員長に様式１・合同チーム大会申込書を提出し、各支部で協議し、承認を得て参加を認める。必ず支部委員長は競技部長に報告する。

《各試合場用具確認一覧表》　　第　　試合場

項目	用具	基本数	現在の個数を記入する
旗	審判旗	6組（紅白）	
	タイマー旗	1本（黄旗）	
	監督旗	2本（紅旗）	
標示用具関係	メ	14	
	コ	10	
	ド	8	
	ツ	3	
	反	3	
	○	9	
	▲	10	
	×	10	
	延長	9	
	一本勝	10	
	代表者戦用（白紙）	8	
	選手変更用（白紙）	8	
	審判主任	1枚	
	次回審判員席	1枚	
	時計係	1枚	
	記録係	1枚	
	試合場標示	1枚	
備品類	トランシーバー	1	
	ストップウォッチ	2	
	ホイッスル	1	
	ハサミ	1	
	面紐計測棒	1	
	黒棒マグネット	18	
	オーダー用紙用マグネット	17	
	黒ビニールテープ	1	
	セロテープ	1	
	電池	1	
	マジック	黒・赤（各1）	

平成３１年度

公益財団法人全国高等学校体育連盟剣道専門部申し合わせ事項

下記の事項は、公式試合における高体連剣道専門部としての統一的な事項である。
特に全国大会においては、これを厳守することとする。

１　選手心得

(1) 選手は気品のある態度で全力をあげて試合をする。

(2) 選手の服装・竹刀・剣道具は、その安全性と公平性が保たれていること。規格外のものを使用したり、華美な装飾や細工等を施さないようにする。

(3) 選手の服装は、紺（黒）または白の剣道着・袴とする。なお、刺繍等により華美にならないこと。

(4) 試合者の目印に校名などを大きく目立つように入れてはいけない。目印を着ける時は折り返した二枚の長さが揃うように着ける。

(5) 貴重品の保管には十分留意する。

(6) 滑り止めのための雑巾等は使用しない。

２　引率責任者、監督の資格について

引率責任者は出場校の教諭とし、監督は出場校の教職員または校長が特に認めた者とする。ただし、監督が出場校教諭である場合は、原則として引率者を兼ねる。

３　監督心得

(1) 監督の服装は、以下の通りとする。

（イ）全国高校総体では、白シャツ、ズボン（白・灰色）または剣道着、袴（色は紺、黒、白いずれか）とする。

（ロ）全国選抜大会では、背広、ネクタイ、または剣道着、袴（色は紺、黒、白のいずれか）とする。

(2) 試合場に入ることができるのは、監督・選手・補欠のみとし、他の者の入場は厳禁する。

４　規則の運用および大会運営について

(1) 試合はすべて一刀（一本の竹刀）にて行うものとする。二刀にての試合は認めない。

(2) 全国総体での竹刀検量は、以下の要領で行う。

（イ） 監督の責任において検量本数を「竹刀検量申請書」により申請する。

（ロ）事前に申請する竹刀の本数は選手一人当たり3本以内とする。

（ハ）全国総体においては、竹刀検量において規格外等により不合格となった竹刀を一時預かり、当該選手が所属する団体及び当該選手の試合が終了後返却する。

（ニ）大会期間中、破損等による追加の申請は破損した竹刀を持参のうえ「竹刀検量【追加】申請書」により申請する。

(3) 鍔競り合いについて

（イ）試合者は、正しい鍔競り合いの攻防から１０秒以内に技を出すか、または、相互に間合いを切って鍔競り合いを解消しなければならない。

正しい鍔競り合いとして以下に示す内容を審判の判定基準とし、この基準からはずれる場合は不当な鍔競り合いの反則とする。

① 手元が上った拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鍔元と鍔元を合わせて竹刀を交差させる。（このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とする。）

② 鍔元で竹刀の表鎬を交差させる。（竹刀は右傾前方に傾ける。）

③ 瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鎬側での交差に直さなければならない。（先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鍔競り合いをする者は反則の対象となる。）

④ 鍔競り合いは、相互に鍔元で圧力をかけ合っている状態とする。（相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となる。）

（ロ）審判員は、不当な鍔競り合いの「反則」を厳密に見極めるとともに、正しい鍔競り合いの攻防が１０秒程度続いた場合、時間空費の「反則」または「分かれ」を見極める。ただし、安易に「分かれ」をかけない。

（ハ）運用の詳細については、別紙＜高校剣道－鍔競り合い改善＞概要版（平成２２年５月３日決定）による。

(4) 不正用具を使用した時の罰則は試合規則17条・19条の通りであるが、個人戦と団体戦を含めて行う大会においては、両方にまたがって適用する。

（イ）団体・個人戦における不正用具使用者は、以後の試合に出場できない。団体トーナメント戦における補欠の出場は別に定めのない限り認める。

（ロ）リーグ戦にあっては、不正用具使用者の総ての試合を負けとし、補欠の出場は認めない。

(5) 団体戦において、補欠と交代した選手の再出場は認めない。（大会が2日以上の場合は全期間にわたって適用する。）但し、全国選抜大会においてはこの限りではない。

(6) 全国大会団体戦の選手変更は以下の方法、条件内で認める。

（イ）監督会議前までに所定の届けを大会事務局へ提出する。

（ロ）変更する選手の人数は原則２名以内とする。

（ハ）全国総体で、選手変更する場合、先鋒から大将までのオーダーは変えられない。

（ニ）全国総体では、参加申込時の選手５名補欠２名に対し、新たな選手を入れる場合は補欠を飛び越して選手と直接変更することはできない。

(7) 個人戦の時、自分の都道府県の生徒が出た時は審判員を交代する。また関係のあるチームの審判も行わないことが望ましい。

(8) 予選リーグにおける引き分けの際は、その都度勝負を決定せずにそのリーグ終了後下記の順で勝敗を決め、また代表者戦を行う。

（イ）チームの勝ち点による。（勝ち1点、分0.5点）

（ロ）勝者数による

（ハ）総本数による

（ニ）上記(イ)から(ハ)までで３チームの順位が決定しない場合は、代表者戦によるリーグ順位決定戦を以下の要領で行い当該リーグの１位を決定する。

① 代表者戦の対戦順は予選リーグ戦時の対戦順とする。ただし、１位チームが決定した後の試合は行わないものとする。

② 代表選手は選手の安全面等に配慮し、代表者戦ごと変更することを可とする。

③ 礼法については、代表者戦１巡目のみ当該の試合に出場した５人を整列させて行い、２巡目に入った場合は代表選手のみの礼とする。

④ 審判は予選リーグ戦時における当該の審判員が行う。

(9) 代表者戦の選手は、当該の試合に出場した先鋒から大将までの５人の選手から選出する。但し、予選リーグにおいては補欠と交代した選手の再出場は認めない。代表者戦は一本勝負とする。

(10) 団体試合・トーナメント戦において、チームの勝敗が決定した後の試合は延長戦を行わない。

(11) 延長戦について

(イ) 全国総体の個人戦において、試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。ただし、延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。

(ロ) 全国総体の団体戦においては、代表者戦に限り延長戦の試合時間は勝敗が決するまで継続する。

(ハ) 全国総体の団体戦における代表者戦以外の延長戦は、試合時間を２分とし、勝敗の決しない場合は引き分けとする。ただし、代表者戦では試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。この場合の延長戦は勝敗が決するまで試合時間は継続する。

(ニ) 全国選抜大会においては、試合時間内で勝敗の決しない場合は延長戦を行わず、引き分けとする。ただし、代表者戦では試合時間内で勝敗が決しない場合は勝敗の決するまで延長戦を行う。この場合の延長戦は勝敗が決するまで試合時間は継続する。

付記：（1）勝敗が決するまで延長戦を継続する場合、主審は試合者の疲労度等を観察し、休息等の措置が必要と判断したら、「止め」を宣告し深呼吸等の措置をとることができるものとする。

（2）各都道府県の大会における「延長戦の試合時間」については全国大会に準ずる。

(12) 会場に各種旗（校旗、部旗、それに類するもの）の掲揚はしない。

5　事故の処理

選手が負傷した場合は、医師及び監督の意見を聞いた上、審判主任と審判員の4名が審判長の了解を得て試合継続の可否について決定する。試合の継続が決定した後、原則として5分以内に試合を再開する。

6　大会参加資格について

(1) （公財）全国高等学校体育連盟の定める「全国高校総体開催基準要項の大会参加資格」による。

(2) （公財）全国高体連剣道専門部の定める「外国人留学生の出場枠」（下記）による。

① 学校教育法第1条に規定する高等学校に卒業を目的として入学している生徒であること。

② 在籍校が、各都道府県高体連剣道専門部に加盟していること。

③ 年齢は平成12年4月2日以降に生まれた者とする。ただし出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回に限る。

④ 短期留学は除く。

⑤ 上記①から④の条件を総て満たしている者に限り、以下の出場枠で参加を認める。

団体戦・・・補欠を含めた７名中の2名以内の出場枠とする。

個人戦・・・参加制限をしない。

７　試合放棄に対する措置について

全国高校総体、全国選抜大会において試合放棄が行われた場合、原則として以下の措置をとる。

試合放棄とは事故や負傷などによる棄権ではなく、運営や判定に対する不満により、試合を一方的に放棄した場合をいう。

(1) 試合放棄の事実確認及び事情聴取

審判長または審判主任は、監督及び選手に対して試合放棄の事実を直接確認し、その事情聴取にあたる。

(2) 競技上の取り扱い

剣道試合・審判規則第31条（棄権）、細則28条にのっとり以下の通り処理する。

① 試合を放棄した者は負けとし、その後試合に出場することができない。

② 個人戦においては、相手に2本を与えて負けとする。既得本数は認めない。

③ 団体戦においては、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数は認めない。
（リーグ戦においてはそのリーグすべての試合を、相手チームに5勝10本を与えて負けとし、既得本数、既得権は認めない。）

補足：団体戦においては、チームとして試合放棄した場合とチーム内の１選手が試合放棄した場合があり得るが、ともに上記③のとおり処置する。

(3) 試合放棄した個人または団体（監督も含め）に対する事後の指導措置

（公財）全国高体連剣道専門部長は、副部長・委員長と協議し当該者に対し指導を講ずる。その結果を全国専門委員会に報告する。

付記：各都道府県の大会における試合放棄は、各都道府県高体連及び剣道専門部に一任する。その結果を（公財）全国高体連剣道専門部長に報告する。

（平成３０年５月３日一部改定）

関東高体連剣道専門部　申し合わせ事項

平成１５年２月６日
平成２２年５月３日一部改正

関東高体連剣道専門部申し合わせ事項は、（公財）全国高体連剣道専門部申し合わせ事項に準ずる。
但し、下記の事項は、関東大会における関東高体連専門部としての申し合わせ事項である。

１　監督心得

（１）監督の服装は、審判員または選手の服装に準ずる。

２　競技運営

（１）試合の進行が滞り競技運営に支障をきたす場合には、各試合場の審判主任の判断で、監督が不在であっても試合を行うことができる。
但し、これについては、試合前の監督会議において、あらかじめ了承を得るものとする。

以上

平成 30 年度

公益財団法人　全国高等学校体育連盟剣道専門部　努力目標

１．指導方針

剣道の理念をより深く認識し、心気力一致の剣道を目指す。

◎　正しい心で稽古も試合もするよう指導する。

①　望ましい指導者のあり方について研鑽を積む。

（指導者に対する各種の意見に対しては耳を傾け研鑽の材料とする。）

②　真の有効打突を求め、その指導に徹する。

（気剣体一致の打突を常に念頭に置き指導する。）

③　正しい鍔競り合いを徹底する。

正しい鍔競り合いとして以下に示す内容を徹底して指導する。

ア　手元が上った拳競り合いにならないようにし、手元を下げて相互に鍔元と鍔元を合わせて竹刀を交差させる。

（このことを試合者同士が相互に努力して行うことを前提とさせる。）

イ　鍔元で竹刀の表鎬を交差させる。

（竹刀は右傾前方に傾ける。）

ウ　瞬間的に裏交差はあり得るが、直後に表鎬側での交差に直さなければならない。

（先に裏交差した者や右拳を体の中心より左側において鍔競り合いをする者は反則の対象となることも指導する。）

エ　鍔競り合いは、相互に鍔元で圧力をかけ合っている状態とする。

（相手の力を故意に吸収して体を密着させる行為は反則の対象となることも指導する。）

④　試合時間の大半を「鍔競り合いに費やす試合展開」ではなく、「間合いを取り、対峙して攻め合う試合展開」になるように指導する。

（お互いに分かれて鍔競り合いを解消する場合は、右足前の中段の構えを基準として呼吸を合わせ潔く剣先の触れない位置まで間合いを切ることを指導する。）

⑤　公明正大に試合するように指導する。

（攻めもなく打突することもなく、構えて即、深い間合いに入ったり、鍔競り合いに持ちこむ試合行動はさせない。）

⑥　安全に留意した稽古・試合を行うよう指導を強める。

（先細竹刀の使用、竹の肉厚を薄く削る等、危険と思われる形状の竹刀の使用を止めさせる。）

（危険と思われる突きは止めさせる）

２．審判員留意事項

◎ 正しい剣道が継続され、正しく豊かな心が育つよう、公正かつ厳正に審判する。

① 有効打突の判定を誤らないようにする。
（引き技・左胴の見誤りをなくする。技の違いと錬度に応じた打突の見極めをする。）

② 申し合わせ事項にある「正しい鍔競り合い」の内容を正確に把握し、不当な鍔競り合いの「反則」を見逃さないようにする。
（反則と見なした時点で主審は試合を中止し合議をかける。）

③ 正しい鍔競り合いが１０秒程度続いた場合、安易に「分かれ」をかけず、原則的にいずれか一方に時間空費の反則をとる。
（１０秒の時間感覚を日常より身につける努力をする。）
（その他鍔競り合いにおける措置は、別紙「鍔競り合い改善の補足事項（平成２２年５月３日決定）」による。）

④ 一時中止要請に対しての処理を適切に行う。
（不適切なものは「反則」にする）

⑤ 場外反則のとりかたを正確にできるように努力する。
（「場外」と「押し出し・突き出し」の判定を正確に行う）
（「止め」を宣言する時期を適切なものにする）

⑥ 危険な突きは反則とする。
（有効打突とする意志のない危険な突き、例えば、相手の場外反則をねらって突いたもの、あるいは引き技を出した相手に残心をとらせないで相手の有効打突を消すことをねらって突いたものなどを反則とする）

（平成 4年5月25日 制　定）
（平成22年5月3日一部改定）

全国高体連剣道専門部 （平成22年5月3日一部改定）

＜高校剣道ー鍔競り合い改善＞概要版

背景⇒ ◎試合時間の大半が鍔競り合いに費やされている。
◎不当な鍔競り合いや中途半端な間合いからの公明正大さに欠ける試合行為が多く誘発されている。

方針⇒ **正しい鍔競り合いを徹底させる** ⇔ **間合いを取り対峙して攻め合う試合展開に変えていく**

方策⇒ **・正しい鍔競り合いの形を示し、その形をとらせる**
・10秒以内に技を出すか、出せなければ相互に間合いを切って鍔競り合いを解消する→申し合わせ事項とす

⇐ **・審判によって厳守させる**
・指導によって徹底させる

1 不当な鍔競り合いを厳密に見極め判断する。
①正しい鍔競り合いをする努力が見られるか否か。
②鍔競り合いの形の変形・変化が1－①を条件とし、許容範囲か否か。
2 明らかに剣先が触れない位置まで、右足前の中段の構えを基準として**潔く間合いを切った か否か**を判断する。
①相互に呼吸を合わせる分かれ方と、片方が一方的かつ瞬間的に間合を切る分かれ方を区別する。
②身体接触（鍔競り合い）をせず、近間中間から間合を切る試合行為と混同しない。

選手⇒試合の留意点

＜10秒以内に技を出す＞
・鍔競り合いの攻防から出す引き技
・相手の引き技に対する瞬間的な応じ技
・引き技に対する追い込み技
・相手が鍔競り合いを解消するために分かれようとした瞬間に出す技

＜潔く分かれ鍔競り合いを解消する＞
・10秒以内に技を出せなければ、相互に呼吸を合わせ潔く分かれる
・分かれる場合は右足前の中段の構えを基準として明らかに剣先が触れない位置まで潔く間合いを切る
・相手が分かれようとしたら、自分も呼吸を合わせ潔く分かれる
（分かれようとする者は気を抜かず、相手の竹刀を制し打たれないように分かれる。分かれようとした瞬間に打たれた場合は有効打突になり得る）
・呼吸を合わせる間もなく、相手が一方的瞬間的に間合いを切る場合はそこを追い込んだり打突したりしても問題にはならない⇒反則ではなく、有効打突になり得る
・呼吸を合わせ分かれる場合は、その途中の近間中間での打突等は反則となる
・鍔競り合い解消直後、すぐ近間に入ることや鍔競り合いに持ち込むことを繰り返せば反則となる。

審判員・指導者（監督）⇒審判の要点・指導の要点

・10秒は、攻防の流れを見極め主審の裁量で判断する
・鍔競り合いから技が出れば、鍔競り合いの解消とする
・技が出た直後再度鍔競り合いになる⇒改めて10秒を見極める
（但し1本にする意思のない技でこの行為を繰り返したら時間空費の反則とする）
・引き技に対し、ただくっついて鍔競り合い解消を拒む行為は繰り返したら時間空費の反則とする
・鍔競り合い解消のため分かれようとした瞬間に出す技は有効打突になり得る。（但し技が出ず、呼吸を合わせて分かれるその途中の近間中間からの技は反則とする）

・明らかに剣先が触れない位置まで右足前の中段の構えを基準として**潔く間合いを切らない行為**は反則とする
（例：間合いが切れる前に攻めて出る・打突する・上段をとる、剣先が離れる寸前でさがろうとしない等の行為）
・自分の引く距離を少なくし相手に大きく引かせる行為は反則とする
ただし、片方が一方的瞬間的に大きく引く場合は、他方の引く距離が少なくなっても問題にならない→反則ではない
・呼吸を合わせる間もなく片方が鍔競り合い解消のために一方的瞬間的に間合いを切りさがる場合は
⇒相互に呼吸を合わせ潔く間合いを切る場合と異なるので、そのまま試合を継続させる
（さがる相手を追い込む、打突する等は問題にならない⇒反則ではないし有効打突になり得る）
・呼吸を合わせて分かれる途中の近間中間からは、「打突する」「竹刀を巻く」「前に出て間を詰める」「止まって相手をさがらせる」等の行為は反則とする。
・間合いを切って鍔競り合いを解消した直後、すぐ近間に入る、又は鍔競り合いに持ち込む行為は
⇒繰り返せば反則とする
・分かれは安易にかけない。

埼玉県高体連　参加資格

（１）埼玉県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で当該大会要項の参加資格を有する者。

（２）年齢は平成１２年４月２日以降に生まれた者とする。ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は、一回限りとする。

（３）チームの編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程・単位制課程の生徒による混成は認めない。ただし、全日制・定時制Ｉ部の混成チームとして認められた競技はこの限りではない。

（４）転校後６ヶ月未満の者は参加を認めない。但し、一家転住等やむを得ない場合は高体連会長の許可があればこの限りではない。

（５）参加する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校長の承認を必要とする。

（６）全国高等学校総合体育大会開催基準要項の参加資格の（９）の特例により参加資格を得たものが出場できる大会は次のとおりとする。

ア 学校総合体育大会兼全国高等学校総合体育大会県予選会

イ 県民総合体育大会兼高等学校新人大会県大会および支部予選会

ウ 関東高等学校体育大会および県予選会・支部予選会

（７）関東高等学校体育大会は全国高等学校総合体育大会に準じて、全国高等学校総合体育大会の開催基準要項の参加資格の（９）の特例により参加資格を得たものが出場できる。

＊（９）の特例

全国高等学校総合体育大会開催基準要項（９）参加資格の特例「大会参加資格の別途に定める規定」のことをさす。

平成３１年度　強化部行事について

１．県強化錬成会について

・令和２年２月１１日（火）　　於：県立武道館
・他県チームを招いて強化練習　対象：県新人大会上位校および国体候補選手

２．第７４回国体選手強化選考会について

・（1 次選考会）　　令和元年５月１８日（土）　於：川口市立高校第２校地
・（最終選考会）　　〃　　６月２９日（土）　於：県立武道館
・試合や試合内容、大会実績や強化練習での内容等を総合的に判断し選考する。
・内定制…元年度関東大会個人ベスト４以上（候補選手に限る）
　　元年度関東県予選会個人２位以上かつインハイ県予選会個人２位以上
・最終選手決定、発表　　６月２９日（土）

３．第７４回国体候補選手の資格条件について

・平成３０年度国体候補者　　最終選考（６月）出場者
・　〃　関東大会県予選会個人戦　男女各上位８名
・　〃　全国大会予選会個人戦　男女各上位８名
・　〃　全国大会予選会団体戦　男女各上位４校より強化部推薦として若干名
・　〃　埼玉県剣道大会　　男女各上位８名
・　〃　県新人大会　　男女各上位８校より強化部推薦として若干名
・令和元年度関東大会県予選会団体戦　男女各上位８校より強化部推薦として若干名
・　〃　関東大会県予選会個人戦　男女各上位８名
・　〃　全国大会予選会個人戦　男女各上位４名
・強化部特別推薦　　若干名

４．第７５回国体候補選手の資格条件について

・令和元年度　国体候補者　　最終選考（６月）出場者
・　〃　関東大会県予選会個人戦　男女各上位８名
・　〃　全国大会予選会個人戦　男女各上位８名
・　〃　全国大会予選会団体戦　男女各上位８校より強化部推薦として若干名
・　〃　**埼玉県剣道大会　　男女各上位４名（ベスト８選手より強化部推薦として若干名）**
・　〃　県新人大会　　男女各上位８校より強化部推薦として若干名
・強化部推薦　　若干名
・(令和２年度　関東大会県予選会個人戦上位および団体戦上位校より強化部推薦として若干名)

※７５国体関東ブロック大会申込期限及び令和２年度関東大会県予選会日程決定後に最終選考方法を決定

５．第７５回国体強化練習会について

・　令和２年　２月　９日（日）栃木県交流戦　於：栃木県
・　〃　２月１５日（土）中高合同強化
　　於：川口市立高校第２校地（旧市立川口高校）
　〃　３月２１日（木）　於：未定

平成３１年度指導普及部行事（審査・講習会）について

１．審査
　１級・・・・・・・・・・・・・・・　６月３０日（日）、１０月２７日（日）
　初～三段・・・・・・・・・・・・・　８月　８日（木）、　１月１２日（日）

◎高校剣道連盟主催の審査会においては、
　合格した場合の登録料は、**当日現金で**支払って頂くことになります。ご注意ください。

２．講習
　指導者講習会（教員対象）・・・・・・・・・・・・・　８月　７日（水）

◎指導者講習会の派遣文書は後日配布します。

３．その他
　Ａ：再受審者の手続きについて
　　実技審査に合格した後、形および学科審査により不合格となった生徒は、形および学科のみを再受審できます。申込個票に必要事項を記入し、審査料を添えて申し込んでください。
　　再審査料は**初段６００円、二段８００円、三段１１００円**です。

　Ｂ：前段を他の都道府県で取得した生徒について
　　前段を他の都道府県で取得した生徒は、改めて埼玉県剣道連盟への加入が必要となります（未加入の場合は、昇段審査を受審できません）。
　　必ず下記の手続きを行ってください。
　　①加入方法　　下記の三点を揃えて顧問が審査の係に提出する。
　　ａ　入会申込書
　　ｂ　入会登録料　　１５００円
　　ｃ　前段の証書のコピー
　　②受付期間　　令和　元年６月　３日（全国大会県予選会個人）・
　　　　６月１７日（全国大会県予選会女子団体）の２日間
　　③受付場所　　大会会場

　　④受領品　　剣道手帳

　　※6/18以降、年度途中での入部などにより上記Bの手続きが必要となる場合は下記担当者までお問い合わせください。

☆その他不明の点がありましたら、浦和工業高校　土田　毅　までご連絡ください。
　（ＴＥＬ　０４８－８６２－５６３４）

高校剣道連盟　一級審査会要項

平成３１年度　第１回

１　日　時　　令和元年　６月３０日（日）９：３０開場
（１０時１５分審査開始・１２時３０分終了予定）

２　場　所　　県立スポーツ総合センター　２階多目的室
（埼玉県立武道館の北側の建物です。）

３　受　付　　９：３０～１０：００**（１０：００受付終了）**

４　持ち物　　剣道具・竹刀・木刀・筆記用具

５　費　用　　審査料　　１，０００円
入会金（埼剣連）　　１，５００円
登録料　　１，５００円　　合　計　４，０００円

６　受審内容　　実　技（切り返し・地稽古）
木刀による基本技稽古法（基本９まで）および日本剣道形（３本目まで）

７　申し込み　　当日申し込み。申込書は不必要です。

８　その他　　６月３０日審査合格者に限り、審査終了後すぐに８月８日の段位審査会での初段審査の申し込みが可能ですので、希望者は初段審査料（3,０００円）を用意して下さい。

平成３１年度　第２回

１　日　時　　令和元年１０月２７日（日）９：３０開場
（１０時１５分審査開始・１２時３０分終了予定）

２　場　所　　県立スポーツ総合センター　２階多目的室
（埼玉県立武道館の北側の建物です。）

３　受　付　　９：３０～１０：００**（１０：００受付終了）**

４　持ち物　　剣道具・竹刀・木刀・筆記用具

５　費　用　　審査料　　１，０００円
入会金（埼剣連）　　１，５００円
登録料　　１，５００円　　合　計　４，０００円

６　受審内容　　実　技（切り返し・地稽古）
木刀による基本技稽古法（基本９まで）および日本剣道形（３本目まで）

７　申し込み　　当日申し込み。申込書は不必要です。

◎　上記に関して不明な点がありましたら、浦和工業高等学校　土田　までご連絡下さい。
TEL　０４８－８６２－５６３４

埼剣連第４号
平成３１年　４月　１日
（公財）埼玉県剣道連盟会長　　山中　茂樹
同　高校剣道連盟代表　　金子　益巳

高校剣道段位審査会要項

１　日時　　令和元年８月　８日（木）８：３０開場
２　場所　　埼玉県立武道館
３　受付　　８：３０～９：００（９：００受付終了）
４　費用

	初　　段	二　　段	三　　段
審　査　料	３０００円	４０００円	５０００円
登　録　料	５５００円	７５００円	１１０００円

◎登録料は、当日現金で支払って頂きます。

５　受審資格
・高体連関係者のみ（埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者）
・初段は、一級取得後３０日を経過した者（都道府県はどこでも可）
・二段は、初段取得後１年を経過した者（　〃　）
・三段は、二段取得後２年を経過した者（　〃　）
（二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能）

６　申し込み方法
（１）①申込個票、②学校団体申込書、③審査料を揃えて提出する。
・個票は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードしてお使いください。
なお、記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。個票の下段に部員登録番号を記入する欄があります。
・学校団体申込書もHPからも高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードできます。
また、個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。
・
（２）インターハイ県予選会（６月３日個人・６月１７日女子団体）の午前中に、会場の指定された場所で、各学校の顧問が申し込んでください。（申込後の審査料の返金は原則として致しません）
・大会に参加しない学校については、現金書留にて浦和工業高校・土田まで６月１３日（木）必着で申し込んで下さい。
・６月３０日の１級審査合格者に限り、その時点での初段の申込は受け付けます。

７．学科問題
・解答用紙は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードする。
なお問題は解答用紙に記載してある。各段ごとに別の用紙になっているので注意。
・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておき、受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入する。
・解答は手書きとし、指定用紙一枚に収める。筆記具の種類は特に問わない。
・指定用紙以外での解答は受け付けない。

８．過去の段審査会（個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください）

平成２７年　１月１２日（高校）、２月８・１５日（四地区）、６月１４日（四地区）、８月１７日（高校）
１０月１８日（四地区）
平成２８年　１月１１日（高校）、２月１４日（四地区）、６月５・１２日（四地区）、８月１９日（高校）、
１０月９・１６日（四地区）
平成２９年　１月８日（高校）、２月１２日（四地区）、６月４・１１日（四地区）、８月２１日（高校）
平成３０年　１月８日（高校）、２月１１・１８日（四地区）、６月３・１０日（四地区）、８月２１日（高校）

※不明な点がありましたら、浦和工業高校　土田（℡０４８－８６２－５６３４）までご連絡下さい。

埼剣連第５号
平成３１年　４月　１日
（公財）埼玉県剣道連盟会長　　山中　茂樹
同　高校剣道連盟代表　　金子　益巳

高校剣道段位審査会要項

１．日時　　令和２年１月１２日（日）８：３０開場
２．場所　　埼玉県立武道館　　**第２道場（剣道場）にて**
３．受付　　８：３０～９：００（９：００受付終了）
４．費用

	初　　段	二　　段	三　　段
審　査　料	３０００円	４０００円	５０００円
登　録　料	５５００円	７５００円	１１０００円

◎登録料は、**当日現金で**支払って頂きます。

５．受審資格
・高体連関係者のみ（埼玉県高校剣道連盟の会員登録をしている者）
・初段は、一級取得後３０日を経過した者（都道府県はどこでも可）
・二段は、初段取得後１年を経過した者（　〃　）
・三段は、二段取得後２年を経過した者（　〃　）
（二、三段受審者の取得経過年数は、同月であれば日数不足は受審可能）

６．申し込み方法
（１）①申込個票、②学校団体申込書、③審査料を揃えて提出する。
・個票は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードしてお使いください。
なお、記入例は別紙の通りです。男女で用紙が異なるので注意してください。個票の下段に部員登録番号を記入する欄があります。
・学校団体申込書もHPからも高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードできます。
また、個票の枚数と学校団体申込書に記載されている人数が一致するように確認してください。

（２）埼玉県剣道大会高校の部（１１月１４日）の午前中に、県立武道館第３会議室にて、各学校の顧問が申し込んでください。（申込後の審査料の返金は原則として致しません）
・大会に参加しない学校については、現金書留にて浦和工業高校・土田まで１１月　７日（木）必着で申し込んで下さい。

７．学科問題
・**解答用紙は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードする。**
なお問題は解答用紙に記載してある。各段ごとに別の用紙になっているので注意。
・指定用紙の氏名・性別の欄は必ず記入しておき、受審番号だけは審査当日に指示された番号を記入する。
・**解答は手書きとし、指定用紙一枚に収める。筆記具の種類は特に問わない。**
・指定用紙以外での解答は受け付けない。

８．過去の段審査会（個票の現段位受領年月日記入時の参考にしてください）

平成２７年　１月１２日（高校）、２月８・１５日（四地区）、６月１４日（四地区）、８月１７日（高校）
１０月１８日（四地区）
平成２８年　１月１１日（高校）、２月１４日（四地区）、６月５・１２日（四地区）、８月１９日（高校）、
１０月９・１６日（四地区）
平成２９年　１月８日（高校）、２月１２日（四地区）、６月４・１１日（四地区）、８月２１日（高校）
１０月８・１５日（四地区）、
平成３０年　１月８日（高校）、２月１１・１８日（四地区）、６月３・１０日（四地区）、８月２１日（高校）
１０月６・１４日（四地区）、
平成３１年　１月６日（高校）

※不明な点がありましたら、浦和工業高校　土田（℡０４８－８６２－５６３４）までご連絡下さい。

剣道　居合道　杖道　　審査会申込書

加盟団体Ｎｏ	加盟団体名
38	高校

申込日　令和　　年　　月　　日

受審項目を〇で囲んでください	審査会場	県立武道館	審査日時	令和　　年　　月　　日	1日目 2日目

初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日
										形	学科	

全剣連番号	現段級位受領年月日	現段位登録申請県名	錬士受領年月日
	昭 平　　年　　月　　日		

氏　　名		旧　姓	性別	生　　年　　月　　日	年　齢
ﾌﾘｶﾞﾅ			男 女	昭 平　　年　　月　　日	
氏名					

〒	住　　所	電　話　番　号

職業番号を〇で囲んでください

1　中学生	2　高校生･大学生･専門学校等	3　警察官	4　自衛官
5　教　員	6　公務員	7　会社員	8　自営業
9　団体職員	10　主　婦	11　その他	12　無　職

学校名	学年	下部団体名

学校名、学年欄は中学生･高校生･大学生･専門学校生のみ記入して下さい。

キリトリ

受審番号

加盟団体控え(高校剣道連盟・男子)

申込日　令和　　年　　月　　日

ﾌﾘｶﾞﾅ	審査日時	令和　　年　　月　　日
氏名	審査会場	県立武道館

受審項目を〇で囲んでください	初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	
											形	学科

〒	住　　所	電　話　番　号

学校名	学年	下部団体名

部員登録番号								

※部員登録番号は全剣連番号とは違います。顧問に確認して記入してください。(9ｹﾀで最後は1)

剣道　居合道　杖道　　審査会申込書

加盟団体Ｎｏ	加盟団体名
38	高校

申込日　令和　　年　　月　　日

受審項目を〇で囲んでください	審査会場	県立武道館	審査日時	令和　　年　月　　日	1日目 2日目

初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審		実技合格月日
										形	学科	

全剣連番号	現段級位受領年月日	現段位登録申請県名	錬士受領年月日
	昭 平　　年　　月　　日		

氏　　名		旧　姓	性別	生　　年　　月　　日	年　齢
ﾌﾘｶﾞﾅ			男 女	昭 平　　年　　月　　日	
氏名					

〒	住　　所	電　話　番　号

職業番号を〇で囲んでください

1　中学生	2　高校生･大学生･専門学校等		3　警察官	4　自衛官
5　教　員	6　公務員	7　会社員	8　自営業	
9　団体職員		10　主　婦	11　その他	12　無　職
学校名		学年	下部団体名	

学校名、学年欄は中学生･高校生･大学生･専門学校生のみ記入して下さい。

キリトリ

受審番号

加盟団体控え（高校剣道連盟・女子）

申込日　令和　　年　　月　　日

ﾌﾘｶﾞﾅ	審査日時　令和　　年　　月　　日
氏名	審査会場　県立武道館

受審項目を〇で囲んでください	初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審	
											形	学科

〒	住　　所	電　話　番　号

学校名	学年	下部団体名

部員登録番号								

※部員登録番号は全剣連番号とは違います。顧問に確認して記入してください。(9ｹﾀで最後は2)

＜審査会申込書の記入例＞

剣道　居合道　杖道　　審査会申込書

加盟団体Ｎｏ	加盟団体名
38	高校

申込日　令和〇年　〇月　〇日

受審項目を〇で囲んでください	審査会場	県立武道館	審査日時	令和　〇年〇月〇日	1日目 2日目

初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審 形	再審 学科	実技合格月日
		〇										

全剣連番号	現段級位受領年月日	現段位登録申請県名	錬士受領年月日
1111111	昭 〇年　〇月〇日	埼玉県	

（平）

氏名	旧姓	性別	生年月日	年齢
ﾌﾘｶﾞﾅ　ダン　ノボル		男	昭 〇年　〇月　〇日	〇
氏名　昇　段		女	平	

〒	住所	電話番号
〇〇〇－〇〇〇〇	埼玉県〇〇市〇〇　〇〇－〇〇－〇〇	・・・－・・・－・・・・

職業番号を〇で囲んでください

1 中学生	2 高校生・大学生・専門学校等	3 警察官	4 自衛官
5 教員	6 公務員	7 会社員	8 自営業
9 団体職員	10 主婦	11 その他	12 無職

学校名	学年	下部団体名
〇〇高校	〇年	

学校名、学年欄は中学生・高校生・大学生・専門学校生のみ記入して下さい。

キリトリ

受審番号

加盟団体控え（高校剣道連盟・男子）

申込日　令和〇年　〇月　〇日

ﾌﾘｶﾞﾅ　ダン　ノボル	審査日時	令和　〇年　〇月　〇日
氏名　昇　段	審査会場	県立武道館

受審項目を〇で囲んでください	初	二	三	四	五	六	七	八	錬士	教士	再審 形	再審 学科
			〇									

〒	住所	電話番号
〇〇〇－〇〇〇〇	埼玉県〇〇市〇〇　〇〇－〇〇－〇〇	・・・－・・・－・・・・

学校名	学年	下部団体名
〇〇高校	〇年	

部員登録番号	

申込日、審査日時を記入し、受審項目（初・二・三）に〇をつけてください。
なお再審（学科・形）受審の場合は、再審を希望する内容（形または学科）に丸をつけ、実技合格月日（平成〇年〇月〇日））を記入してください。

二、三段受審希望者は全剣連番号を忘れずに記入して下さい。
（初段受審者は記入不要です）
現段位受領年月日（初段受審者は1級の合格した日）および
現段位登録申請県名（〇〇県）を記入してください。
※前段位を他県で取得した方は、埼玉県剣道連盟への入会申し込みの手続きが必要になります。

郵便番号・住所・電話番号を記入してください。
また、職業番号（高校生は2、教員は5）に丸をつけ、高校名および学年を記入してください。

申込書に記載した内容と同じ内容を記入してください。
女子は女子用のものを使用してください。

受審番号欄には記入しないで下さい。

顧問の先生に確認して、今年度の部員登録番号を記入してください。（9

＜注意＞
・この申込書は高体連剣道専門部ホームページよりダウンロードできます。
・この申し込み書は高校剣道連盟対象の審査専用の申込書です。男女で様式が異なります。お気をつけ下さい。

昇段審査　学校団体申込用紙

学校番号＿＿＿＿＿＿　　受付月日　＿＿月＿＿＿＿日

学校名　＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿高等学校

顧問名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿印　　部長名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿，

	男子人数（生徒）	女子人数（生徒）	教員人数（男性）	教員人数（女性）	合計人数	合計金額
初段						3,000円×合計人数
	再審査	再審査	再審査	再審査	再審査	600円×合計人数
２段						4,000円×合計人数
	再審査	再審査	再審査	再審査	再審査	800円×合計人数
３段						5,000円×合計人数
	再審査	再審査	再審査	再審査	再審査	1,100円×合計人数
合計						

審査料　初段3,000円、　二段4,000円、　三段5,000円

（再審査料）　初段600円、　二段800円、　三段1,100円

提出は、定められた日の午前中に必ず顧問の先生が所定の場所にて行ってください。その際に、本用紙と申込個票、審査料の3点を必ず揃えて提出してください。

平成31年度　指導普及部役割分担（案）

係			常任委員	専門委員	備考
総務・会計・厚生・部員登録					
昇段審査	受付 PC入力	6月3日			インハイ予選個人
		6月17日			インハイ予選女子団体
		11月14日			埼玉県剣道大会
	総務	8月8日 1月12日			※受審者の数により後日割振りをお願いします。
	立会・集計				
	救護				
1級審査	総務	6月30日			
	審査・立会				
	総務	10月27日			
	審査・立会				
指導者講習会	総務・資料販売	8月7日			
稽古会	運営・進行	5月13日 6月17日 11月14日 1月25日			各団体戦の1日目 および 埼玉県剣道大会

後日提案します。

入　会　申　込　書

私は、貴連盟に入会したいので、入会金等及び段位等受有証明書（証明の写し）を添えて申し込みます。

住　所
電　話
フリガナ
氏　名　　印
生年月日
現（前）所属剣道連盟　　都道府県　剣道連盟

学生・職業・勤務先

令和　　年　　月　　日

公益財団法人　　埼玉県剣道連盟
同　　高校剣道連盟代表　様

附記事項

	称　　号 受　領　年　月　日	段　　位 受　領　年　月　日	受領　都（…区） 道府県 剣道連盟
剣　道	士 年　　月　　日	段 年　　月　　日	称号 段位
居合道	士 年　　月　　日	段 年　　月　　日	称号 段位

登　録　申　請　書

上記の者を本連盟の会員として入会を認めたので、貴連盟に入会登録料を添えて登録を申請いたします。

令和　　年　　月　　日

公益財団法人　　埼玉県剣道連盟
同　高校剣道連盟代表

公益財団法人　　埼玉県剣道連盟会長　様

高校剣道連盟会費について

1　登録は、剣道部顧問及び、部員全員が行う。会費納入のないものは、高校剣道連盟の段級審査会の受験資格がありません。

2　登録用紙に男子、女子の順で行をあけずに必要事項を記入する。

3　登録用紙の提出は、ホームページから書式をダウンロードし、電子データはホームページの登録フォームから添付ファイルにて送信してください。そのさいのファイル名は学校名でお願いいたします。

4　郵便振替払込金受領証のコピーを会費納入書裏面中央に貼付する。

5　追加登録をする場合には、最初の登録時と同様に行ってください。追加登録者の必要事項を記入し、ホームページの登録フォームから添付ファイルで送信してください。会費納入書を松伏高校橋本まで郵送してください。その後の追加登録も同様にして下さい。

高校剣道連盟会費納入方法について

1　会費は１人９００円。剣道部顧問及び、部員全員が納入する。

2　会費納入方法

1）高校剣道連盟の用意する郵便局の払込金受入票に必要事項を記入し郵便局に振り込む。

2）払込人住所氏名欄に、学校の郵便番号、住所、校名、顧問氏名、電話番号。
通信欄に、顧問数、男子部員数、女子部員数、合計人数を記入する。
払込合計人数と、登録用紙に記載された人数が合うよう注意する。

4　郵便振替払金受領証コピーを会費納入書裏面中央に張り付け提出して下さい。
会費納入書はホームページよりダウンロードして下さい。

5　登録、納入方法の問い合わせ先

松伏高等学校　　高校剣道連盟　　橋　本　　一
住所〒343-0114　北葛飾郡松伏町ゆめみの東2-7-1　℡ 048-992-0121
FAX 048-993-1180

払込金受入票記入控え

払込人住所氏名欄記載事項	通信欄記載事項
学校の郵便番号＿＿＿＿＿＿＿＿ 学校の住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿ 学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 顧問氏名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ 学校の電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿	合計人数 ＿＿名　顧問登録数 ＿＿名 男子登録数 ＿＿名　女子登録数 ＿＿名
納入金額	郵便振替　口座番号　００５２０－０－９７９ 加入者名　埼玉県剣道連盟高校支部

高校剣道連盟会費納入書

払込人住所氏名欄記載事項	通信欄記載事項
学校番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	
学校の郵便番号＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	合計人数 ＿＿＿名　顧問登録数 ＿＿名
学校の住所 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	
学校名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	男子登録数 ＿＿名　女子登録数 ＿＿名
顧問氏名 ＿＿＿＿＿＿　＿＿＿＿＿＿	
学校の電話番号 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿	
納入金額　　￥＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿－	

郵便振替払込金受領書コピー添付欄

平成３１年度　埼玉県高体連剣道専門部　部員登録

Ｈ３１登録用紙の入力方法について

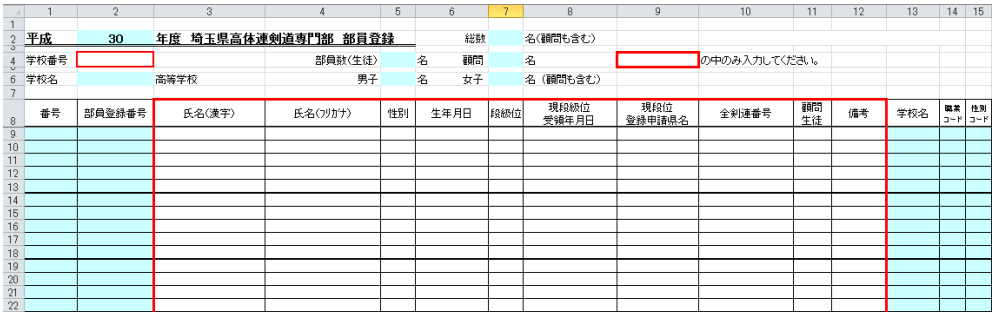
登録用紙の提出は、ホームページから書式をダウンロードし、電子データはホームページの登録フォームから添付ファイルにて送信してください。

その際のファイル名は”〇〇（学校番号・半角）▲▲（学校名）”でお願いいたします。例：331 浦和工業

※部員登録番号は毎年変更されますので、H31 登録用紙を新規にダウンロードし、入力してください。

Ｈ３１登録用紙の入力方法

の中のみ入力をしてください。



①【学校番号】の入力　学校番号を入力してください。（学校名が表示されます。）

②【氏名（漢字）】を入力してください。（番号・部員登録番号が表示されます。）性と名の間は全角で１ﾏｽあけてください（外字は、常用漢字で置き換えて入力し、【備考】に外字と記載）

③【氏名（ﾌﾘｶﾞﾅ）】を半角カタカナで入力してください。性と名の間は半角で１ﾏｽあけてください

④【性別】を クリックして「男」「女」のどちらかを選択してください。（男子、女子の人数と総数、性別コードが表示されます。）

⑤【生年月日】を H〇〇.□□.△△（例：平成 11 年１月１日生まれの場合→H11.1.1）で入力してください。

⑥【段級位】を クリックして「一級」「初段」・・・「７段」「８段」「なし」を選択してください。

⑦【現段級位受領年月日】を H〇〇.□□.△△（例：平成 29 年１月８日の場合→H29.1.8）で入力してください。１級も受領年月日が必要です。

⑧【現段位登録申請県名】を クリックして「埼玉」「茨城」･･･「沖縄」「国際」を選択してください。段級位が「１級」または「なし」の場合は空欄。

⑨【全剣連番号】を半角英数で入力してください。段級位が「１級」または「なし」の場合は空欄。

⑩【顧問生徒】を クリックして「顧問」「生徒」のどちらかを選択してください。（顧問、部員の人数、職業コードが表示されます。）

⑪年度途中で追加登録をする際は、年度当初登録の続きの行にデータを入力し、【備考】に「◇/◇追加」（例：10/1 に追加なら「10/1 追加」と入力して、ＨＰの登録フォームより再送信してください。

⑫部員登録番号は高校剣道連盟の昇段審査申込みの際に必要となりますので、部員へ部員登録番号を伝えてください。

平成３１年度　高校剣道連盟会員登録申込書学校番号

Ｎｏ	東部地区校名	Ｎｏ	西部地区校名	Ｎｏ	南部地区校名	Ｎｏ	北部地区校名
101	春日部	201	川越	301	浦和	401	熊谷
102	春日部女子	203	川越女子	302	川口	402	熊谷女子
103	久喜	205	飯能	303	浦和第一女子	404	鴻巣女子
104	不動岡	207	朝霞	304	浦和西	405	本庄
105	越ケ谷	208	狭山緑陽	305	大宮	406	児玉
106	草加	209	坂戸	306	蕨	407	秩父
109	越谷北	210	豊岡	307	戸田翔陽	408	小鹿野
110	誠和福祉	211	所沢	309	与野	409	深谷
111	吉川美南	212	和光	310	上尾	410	進修館
112	八潮	213	越生	311	川口北	411	鴻巣
113	蓮田松韻	215	新座	312	上尾鷹の台	412	寄居城北
114	越谷南	216	日高	314	大宮武蔵野	414	熊谷西
116	栗橋北彩	217	所沢北	315	上尾南	415	深谷第一
117	三郷	218	志木	316	浦和北	418	妻沼
118	草加南	219	川越南	317	川口東	419	吹上秋桜
119	羽生第一	220	富士見	319	大宮東	420	熊谷農業
120	春日部東	224	ふじみ野	320	南稜	421	秩父農工科学
121	杉戸	226	飯能南	322	大宮南	422	児玉白楊
122	白岡	227	入間	323	浦和東	424	熊谷工業
123	鷲宮	228	朝霞西	324	上尾橘	425	深谷商業
124	越谷西	229	新座柳瀬	325	川口青陵	426	熊谷商業
125	草加東	230	川越西	326	伊奈学園総合	427	皆野
126	三郷北	231	所沢西	327	大宮光陵	430	正智深谷
127	庄和	232	坂戸西	328	鳩ケ谷	431	東京成徳深谷
130	松伏	233	所沢中央	329	いずみ	432	本庄第一
132	越谷東	234	鶴ヶ島清風	330	川口工業	433	本庄東
133	宮代	235	狭山清陵	331	浦和工業	434	早大本庄
134	草加西	236	川越初雁	332	大宮工業	435	松山
135	八潮南	237	入間向陽	333	浦和商業	436	松山女子
136	久喜北陽	239	芸術総合	334	大宮商業	437	滑川総合
137	杉戸農業	240	和光国際	335	常盤女子	438	鳩山
138	久喜工業	241	川越総合	337	市立浦和	440	大妻嵐山
139	春日部工業	242	川越工業	338	川口市立	441	東農大三
140	三郷工業技術	243	狭山工業	339	市立大宮北	442	桶川
141	越谷総合技術	245	新座総合	340	市立大宮西	443	北本
142	幸手桜	246	所沢商業	341	市立浦和南	444	桶川西
144	羽生実業	247	狭山経済	343	浦和明の星女	445	小川
145	春日部共栄	248	市立川越	344	浦和学院		
147	昌平	249	筑波大坂戸	345	浦和実業		
148	獨協埼玉	250	秋草学園	346	浦和ルーテル		
149	花咲徳栄	252	武蔵越生	347	大宮開成		
150	開智未来中高	253	川越東	349	浦和麗明		
151	叡明	254	慶応志木	350	埼玉栄		
		255	埼玉平成	351	栄東		
		256	狭山ケ丘	352	秀明英光		
		257	秀明	353	淑徳与野		
		258	自由の森学園	354	武南		
		259	城西川越	355	国際学院		
		260	城北埼玉	356	栄北		
		261	西武学園文理	357	岩槻		
		262	西武台	358	岩槻北陵		
		263	聖望学園	359	岩槻商業		
		265	東野	360	開智		
		266	星野	361	開智中高		
		267	細田学園				
		268	山村学園				
		269	山村国際				
		270	立教新座				

平成31年度　　総務部役割分担

※ 常任委員

役割	担当		役 割 分 担	
	常任委員	専門委員		
要覧作成			内容	剣道専門部要覧の作成。
派遣文書			内容	派遣文書の通知。 文書送付先の4名に到着の連絡をして欲しい。各部の文書は、 番取得。
各種調査				、高体連への報告のため。
会議書記				の会議録。
名簿管理				
顧問総会 代表者会議				設営・片付け。
記録報道			内容	大会記録の管理、新聞社への原稿提供、高体連への報告。 新聞社への原稿提供 ： 斉藤・下梶 高体連への報告 ： 橋本　剣道雑誌への記事提供 ： 競技部 各地区の大会記録をHPに掲載するため、梅澤と競技部へ報告する。
賞状・賞品			内容	賞状・賞品の準備。 賞品は、碩山基金より財源があるまで。
弁当・湯茶			内容 総括	大会時の弁当注文、湯茶の準備・片付け。 125名～135名程度の範囲で、ある程度数を読んで発注し、大会当日の10時頃までに最終連絡を行う。
ホームページ			内容	HPの管理。 各部での連絡は、大いに活用。公式文書は禁止。
埼玉県剣道大会　総務			内容	大会総務、剣連との連絡。 剣連との連絡の徹底が必要。
運営負担金　徴収			内容	大会運営負担金の徴収集計、納入。
懇親会			内容	懇親会、祝賀会の企画運営。 開始時間の徹底、人数の把握に困難（当日キャンセルなど）は課題。大会終了後の懇親会の在り方も課題。
救護			内容	救急箱の維持・管理。大会時の看護師の対応、連絡。 27年度より看護師派遣。
警備			内容	会場内の警備。 更衣室の使用場所で、競技部との連携が必要。 女子の大会日に於ける、更衣室関連の警備に女性教師の人数が不足。
高校剣道連盟　会計			内容	高校剣道連盟会計管理。
高体連　会計			内容	大会会計、高体連との予算折衝。 消耗品に関しては、総務部（会計）に相談をしてからの購入。

4月23日（火）
顧問総会後　掲載

埼玉県高等学校剣道部人口調査

学校番号		学校名		記入責任者	
所 在 地	〒		電話	ＦＡＸ	
顧問氏名	代表者				

１．剣道部員数（５月２０日現在）

	第　１　学　年				第　２　学　年					第　３　学　年					合　　計					総　計
段	無	１級	初段	２段	無	１級	初段	２段	３段	無	１級	初段	２段	３段	無	１級	初段	２段	３段	
男子																				
女子																				

２．施設（該当のところに○印をつけて下さい）※昨年と変更ある時だけ記入してください。

ア　専用の道場がある。（長い辺　　m×短い辺　　m）

イ　専用の道場がない。

３．体育の授業で剣道を実施しているか。※昨年と変更ある時だけ記入してください。

ア　実施している。（実施している場合　　３年間　　時間）

イ　実施していない。

※この調査書は５月２９日（水）学校総合体育大会代表者会議の受付時に提出して下さい。

〈全日制大会〉　　剣道　学校総合体育大会（男子）

見本　埼玉高体連剣道専門部HPから
ダウンロードしてください

学校番号

令和　元 年　　月　　日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣　道　専門部長　様

学校名

部顧問名　　印

競技名	剣　　道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	学校総合体育大会（男子の部）
参加選手数	男子　　名
大会運営負担金	５００円×　　名分 円

〈剣道学校総合体育大会男子〉

学校番号

令和　元 年　　月　　日

領　収　書

様

（５００円×　　名分）

金　　円

平成30年度高校剣道学校総合大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長　　印

〈全日制大会〉　　剣道　学校総合体育大会（女子）

見本　埼玉高体連剣道専門部HPから
ダウンロードしてください

学校番号

令和　元 年　　月　　日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣　道　専門部長　様

学校名

部顧問名　　印

競技名	剣　　道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	学校総合体育大会（女子の部）
参加選手数	**女子　　名**
大会運営負担金	５００円×　　名分 **円**

〈剣道学校総合体育大会女子〉

学校番号

令和　元 年　　月　　日

領　収　書

様

（５００円×　　名分）

金　　円

平成30年度高校剣道学校総合大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長　　印

〈全日制大会〉　　剣道　新人大会(男子)

見本　埼玉高体連剣道専門部HPから
ダウンロードしてください

学校番号

令和　2 年　　月　　日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣　道　専門部長　様

学校名

部顧問名　　印

競技名	剣　　道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	埼玉県高校剣道新人大会（男子の部）
参加選手数	男子　　名
大会運営負担金	５００円×　　名分 円

剣道　新人大会（男子）

学校番号

令和　2 年　　月　　日

領　収　書

様

（５００円×　　名分）

金　　円

平成３０年度埼玉県高等学校新人大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長　　印

〈全日制大会〉　　剣道　新人大会（女子）

見本　埼玉高体連剣道専門部HPから
ダウンロードしてください

学校番号

令和　2 年　　月　　日

高体連大会運営負担金納入書

埼玉県高等学校体育連盟
剣　道　専門部長　様

学校名

部顧問名　　印

競技名	剣　　道

標記大会へ参加しますので、大会運営負担金を納入します。

大会名	埼玉県高校剣道新人大会（女子の部）
参加選手数	**女子　　名**
大会運営負担金	５００円×　　名分 円

剣道　新人大会（女子）

学校番号

令和　2 年　　月　　日

領　収　書

様

（５００円×　　名分）

金　　円

平成３０年度埼玉県高等学校新人大会運営負担金として上記金額を領収しました

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部長　　印

平成31年度
埼玉県高体連剣道専門部行事予定

4月		行事名	会場
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		
14	日		
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月	**休館日**	**県武道館**
23	火	関東県予選代表会議	県武道館
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月	全日本都道府県対抗	大阪府
30	火		

支部団体戦会場
東部・（20）春日部工業
西部・（20）川越南
南部・（20）大宮東
北部・（20）皆野

支部個人戦会場
東部・（21）不動岡
西部・（21）川越南
南部・（21）伊奈学園

5月		行事名	会場
1	水		
2	木		
3	金		
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水	関東県予選男女個人	県武道館
9	木		
10	金		
11	土		
12	日		
13	月	関東県予選女子団体	県武道館
14	火	関東県予選男子団体	県武道館
15	水		
16	木		
17	金		
18	土	国体１次選考会	川口市立第２校地
19	日		
20	月		
21	火		
22	水		
23	木		
24	金		
25	土		
26	日		
27	月	**休館日**	**県武道館**
28	火		
29	水	全国県予選代表会議	県武道館
30	木		
31	金		

6月		行事名	会場
1	土		
2	日		
3	月	全国県予選男女個人	所沢体育館
4	火		
5	水		
6	木		
7	金	**関東大会**	東京都
8	土	**関東大会**	東京都
9	日	**関東大会**	東京都
10	月		
11	火		
12	水		
13	木		
14	金		
15	土		
16	日		
17	月	全国県予選女子団体	県武道館
18	火	全国県予選男子団体	県武道館
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日		
24	月	**休館日**	**県武道館**
25	火		
26	水		
27	木		
28	金		
29	土	国体最終選考会	県武道館
30	日	１級審査	スポ総

7月		行事名	会場
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		
7	日		
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土	全日本都道府県対抗女子	東京都
14	日		
15	月		
16	火		
17	水	**休館日**	**県武道館**
18	木		
19	金		
20	土		
21	日		
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		
28	日		
29	月		
30	火		
31	水		

8月		行事名	会場
1	木		
2	金		
3	土	**全国高校総体**	熊本県
4	日	**全国高校総体**	熊本県
5	月	**全国高校総体**	熊本県
6	火	**全国高校総体** 中高合同強化	熊本県 県武道館
7	水	指導者講習会	県武道館
8	木	昇段審査	県武道館
9	金		
10	土		
11	日		
12	月		
13	火		
14	水		
15	木		
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		
22	木		
23	金		
24	土		
25	日	国体関東ブロック	千葉県
26	月		
27	火		
28	水		
29	木	**休館日**	**県武道館**
30	金		
31	土		

9月		行事名	会場
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日	**第74回国体**	茨城県
30	月	**第74回国体**	茨城県

平成31年度
埼玉県高体連剣道専門部行事予定

10月		行事名	会場
1	火	**第74回国体**	茨城県
2	水		
3	木		
4	金		
5	土		
6	日		
7	月		
8	火		
9	水		
10	木		
11	金		
12	土		
13	日		
14	月		
15	火		
16	水		
17	木		
18	金		
19	土		
20	日		
21	月		
22	火		
23	水		
24	木		
25	金		
26	土		
27	日	１級審査会	スポ総
28	月	**休館日**	**県武道館**
29	火		
30	水		
31	木		

11月		行事名	会場
1	金		
2	土		
3	日		
4	月		
5	火		
6	水		
7	木		
8	金		
9	土		
10	日		
11	月		
12	火		
13	水		
14	木	埼玉県剣道大会「高校の部」	県武道館
15	金		
16	土		
17	日		
18	月		
19	火		
20	水		
21	木		
22	金		
23	土		
24	日		
25	月	**休館日**	**県武道館**
26	火		
27	水		
28	木		
29	金		
30	土	埼玉県剣道大会「一般の部」	県武道館

支部新人大会
会場予定
東部・(10)　春日部
西部・(10)
南部・(10)　県立浦和
北部・(10)　寄居体育館

12月		行事名	会場
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土	指導者研修会	県武道館
15	日		
16	月		
17	火		
18	水	**休館日**	**県武道館**
19	木		
20	金		
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金		
28	土		
29	日	**休館日**	**県武道館**
30	月	**休館日**	**県武道館**
31	火	**休館日**	**県武道館**

１月		行事名	会場
1	水	**休館日**	**県武道館**
2	木	**休館日**	**県武道館**
3	金	**休館日**	**県武道館**
4	土		
5	日		
6	月		
7	火		
8	水		
9	木		
10	金		
11	土		
12	日	昇段審査	県武道館
13	月		
14	火	武道館利用調整会議	県武道館
15	水	新人大会代表者会議	県武道館
16	木		
17	金		
18	土		
19	日		
20	月		
21	火	**休館日**	**県武道館**
22	水		
23	木		
24	金		
25	土	新人大会女子団体	県武道館
26	日	新人大会男子団体	県武道館
27	月		
28	火		
29	水		
30	木		
31	金		

２月		行事名	会場
1	土		
2	日		
3	月		
4	火		
5	水		
6	木		
7	金		
8	土		
9	日	国体強化練習会（栃木県交流戦）	栃木県
10	月		
11	火	県錬成強化会	県武道館
12	水		
13	木		
14	金		
15	土	中高合同強化練習会	川口市立第２校地
16	日		
17	月		
18	火		
19	水		
20	木		
21	金		
22	土		
23	日		
24	月		
25	火		
26	水		
27	木	**休館日**	**県武道館**
28	金		
29	土		

３月		行事名	会場
1	日		
2	月		
3	火		
4	水		
5	木		
6	金		
7	土		
8	日		
9	月		
10	火		
11	水		
12	木		
13	金		
14	土		
15	日		
16	月		
17	火		
18	水		
19	木		
20	金	国体強化会	未定
21	土		
22	日		
23	月		
24	火		
25	水		
26	木		
27	金	**全国選抜大会**	愛知県
28	土	**全国選抜大会**	愛知県
29	日		
30	月		
31	火	**休館日**	**県武道館**

★　代表者会議には、要覧をご持参下さい

埼玉県高等学校体育連盟剣道専門部連絡先　※今年度改選で変更になる場合があります。

全般について
委員長　津坂　宗秀　　（県立大宮東高校）
　　℡048-683-0995　　Fax048-680-1900

支部行事について
東部　石井　均　　（県 立 白 岡 高 校）
　　℡0480-92-1505　　Fax0480-90-1008
西部　堀内　眞一　　（秋 草 学 園 高 校）
　　℡04-2958-4111　　Fax04-2958-2831
南部　泉　　英毅　　（県　立　蕨　高　校）
　　℡048-443-2473　　Fax048-269-9998
北部　井上　彰博　　（県立秩父農工科学高校）
　　℡0494-22-3017　　Fax048-430-1371
大会について
　　上田　伸一　　（県 立 川 越 南 高 校）
　　℡049-244-5223　　Fax049-240-1051
審査について
　　土田　毅　　（県立浦和工業高校）
　　℡048-862-5634　　Fax 048-836-1058
強化について
　　栗原　洋右　　（川 口 市 立 高 校）
　　℡048-483-5917　　Fax048-262-5081
高校剣道連盟会費について
　　橋本　一　　（県 立 松 伏 高 校）
　　℡048-992-0121　　Fax048-993-1180

高校剣道連盟事務局
　　森田　一成　　（県 立 浦 和 高 校）
　　℡048-886-3000　　Fax048-885-4647
※　各種申込は剣道専門部ホームページからダウンロードし提出してください。

平成３０年度埼玉県高体連剣道専門部委員会・(公財)埼剣連加盟団体高校剣道連盟総会
２０１９年4月２３日(火)１３：４５～
埼玉県立武道館
司会　山口(常任委員)

次第
１．剣道専門部委員会
　１．剣道専門部委員会
　・部長紹介
　・議長選出
　・協議事項
　　役員選出
　　その他
　・連絡事項
　　委員長より
　　総務部
　　指導普及部
　　競技部
　　強化部
　２．埼玉県高校剣道連盟総会
　・役員紹介
　・平成３０年度決算報告
　・平成３１年度（２０１９年度）予算(案)
　・登録について
　・段位審査会について
　・事務局より
３．その他
４．各部会（競技・強化・指導普及・総務）